

授業科目名	グローバル市民社会論（全学共通科目）（Global Civil Society）	必修の区分	
単位数	2.0	開講年次	
講師名	野津 隆志	所属	経済学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義の目的：兵庫県とアジアのNPO・NGO・ボランティアの現状と課題についての基礎的知識を学習する。兵庫県とアジアの「コミュニティビジネス」「多文化社会」について事例を取り上げ深く学習する。</p> <p>アジア諸国の中から、主にタイ、韓国、部分的に中国、台湾、フィリピンなどを取り上げる</p> <p>到達目標：兵庫とアジアのNPO・NGO・ボランティアの現状と課題について理解すること。</p>		
講義内容・授業計画	<p>1．NPOの基本を学ぶ</p> <p>1回 NPOとは</p> <p>2回 ひょうごのNPO</p> <p>(1)歴史</p> <p>(2)NPOを支える仕組み</p> <p>(3)中間支援のNPO</p> <p>3回 欧米とアジアのNPO</p> <p>(1)アメリカのNPO</p> <p>(2)イギリスのNPO</p> <p>(3)タイのNPO</p> <p>(4)韓国のNPO</p> <p>2．アジアのコミュニティビジネスを学ぶ</p> <p>4回 コミュニティビジネス コミュニティビジネスとソーシャルビジネス</p> <p>5回 タイのコミュニティビジネス</p> <p>6回 兵庫のコミュニティビジネス（1）</p> <p>7回 兵庫のコミュニティビジネス（2）</p> <p>3．アジアの多文化社会とNGOを学ぶ</p> <p>8回 アジアにおける人の移動とNGO</p> <p>9回 タイのグローバリゼーションとNGO</p> <p>10回 タイの外国人労働者とNGO</p> <p>11回 兵庫の多文化共生とNGO</p> <p>4．ボランティアを学ぶ</p> <p>12回 ボランティアの現状</p> <p>13回 大学生とボランティア（1）</p> <p>14回 大学生とボランティア（2）</p> <p>15回 まとめ</p>		
テキスト	野津隆志「ひょうごとアジアの市民活動:NPO・NGO・ボランティアを学ぶ」2015年学術研究出版		
参考文献	<p>海森高悦 「テキストブック NPO 非営利組織の制度・活動。マネージメント」東洋経済新報社 2012年</p> <p>澤村他 「はじめてのNPO論」 有斐閣</p>		
成績評価の基準	<p>平常点（出席点20％）と中間レポート（30％）、期末試験（50％）を総合して評価する。</p> <p>学生のボランティア活動やNPO・NGOへの活動参加は、レポートや成績に換算して評価する</p>		
履修上の注意・履修要件			

地域に関する学修	該当しない
備考	授業で使用する資料、授業に関する情報、連絡は以下の野津隆志のホームページを参照すること https://sites.google.com/site/notsu22/